

平成25年第14回教育委員会会議議事録

1 開催日時

平成25年12月18日(水) 午後4時30分～午後4時49分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

教育委員	委員長	沖田	道子
	職務代理	小尾	一彦
	委員	瀧本	洋次
	委員	早津	聡子
	教育長	飯田	晴義
事務局	教育部長	羽磨	知成
	学校教育課長	川瀬	康彦
	生涯学習課長	澤部	紀博
	図書館長	長谷	繁
	給食センター所長	坂口	惣一郎
	総務係長	向井	克久
	学校教育係長	佐藤	勝博
	学校教育推進員	吉村	泰之

4 議事

議案第56号 平成26年度幕別町一般会計補正予算の要求について

議案第57号 給食材料費の高騰などに伴う学校給食費のあり方について(諮問)

議案第58号 要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定について

5 議事概要 次のとおり

沖田委員長 ただいまから第14回教育委員会会議を開会いたします。本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1会期の決定についてお諮りします。本日一日限りとすることにご異議はありますか。

(異議なし)

沖田委員長 会期は本日一日限りと決しました。

次に日程第2会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に1番瀧本委員、5番飯田委員を指名いたします。

次に日程第3前回会議の承認であります。第13回教育委員会会議について、別紙議事録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、第13回教育委員会会議を承認いたします。

次に日程第4事務報告についてお願いいたします。

教育部長(羽磨知成) はじめに、2番早津委員より欠席する旨の届け出がありましたので報告いたします。

平成25年第4回定例会一般質問についてであります。事務報告資料として用意しておりますのでご覧ください。12月定例会では11名の議員が質問を行い、うち3名が教育委員会に対して質問がありました。

1人目の芳滝議員からは、学校における防災教育の充実についての質問があり、教育長からは、国においては発達段階に応じて防災教育の目標が設定されていることや、本町における避難訓練の実施などの現状を述べるとともに、新年度の教育課程の編成において、文科省の方針に沿った防災教育が盛り込まれるよう各学校に要請していく旨の答弁をいたしました。

2人目の小島議員からは、PCB使用の蛍光灯の撤去状況と学校給食の異物混入など衛生管理に関する質問がありました。PCBについては、本町の小中学校や公共施設においてPCB使用の蛍光灯が完全に撤去されているかどうか、また、保管、処理の状況を問うものであります。学校給食については、虫などの異物混入の事例と対応、衛生管理体制について問うものであります。

3人目の藤原議員からは、ビブリオバトルについての質問でありまして、児童生徒の言語能力の向上を目指す観点から、本の魅力を紹介しあい、投票によりチャンプ本を決定するビブリオバトルを教育現場で取り入れてはとの趣旨での質問でありました。教育長からは、検討すべき課題もあることから、現段階で積極的に導入ということは考えていない旨を述べたところであります。

これら3人に対する答弁の詳細については、別紙のとおりであります。後ほど、ご覧いただきたいと思っております。以上です。

沖田委員長 事務報告について何か質疑等ございませんか。

(ありません)

沖田委員長 質疑がないようですので議件にはいります。

日程第5議案第56号平成26年度幕別町一般会計予算の要求について説明を求めます。

教育部長(羽磨知成) 議案第56号平成26年度幕別町一般会計予算の要求について、議案書の2、3ページの表によってご説明させていただきます。10款：教育費、平成26年度の予算要求額は12億5,566万9千円で、前年度当初予算に比べ、5,973万3千円の増額要求となっております。

以下、主な項、目につきましてご説明申し上げます。

1項：教育総務費は4億8,419万1千円で、前年に比べ、886万9千円の減額となっております。6目：学校給食センター管理費の減が主な要因であります。1目：教育委員会費は、委員の報酬、旅費等が主なものであります。2目：事務局費では、子どもサポーターの賃金単価アップを図ります。また、新規事業として、札内東中学校開校30周年記念補助金、全道へき地複式教育研究大会実行委員会補助金、特別支援教育振興会補助金を計上いたしました。このうち、全道へき地複式研究大会は、本町では糠内小学校を会場に開催されます。また、特別支援教育振興会につきましては、特別支援教育の充実を図る観点から、現在、町教育振興会から補助を受けています特別支援学級振興会を発展的に解散し、本振興会を設立するものであります。3目：教育財産費は、札内北小学校の排水管敷設工事と同校の屋内運動場屋根改修工事、忠類中学校屋内運動場床改修工事などが新規事業となりますが、全体では、前年度と比べ460万9千円の減となっております。4目：スクールバス管理費は、12路線の運行業務委託料積算額の増加による増額要求であ

ります。5目：国際化教育推進事業費は、小中学校や幼稚園で英語を指導するなど2名の国際交流員の人件費が主なものであります。6目：学校給食センター管理費は、食材の受け入れや検収、給食費の徴収事務などを担う嘱託職員1名を新たに採用することの賃金を計上しております。なお、食器洗浄機更新工事の皆減により、前年度と比べ1,718万5千円の減となっております。

2項：小学校費は2億3,027万円で、前年に比べ2,029万7千円の増額となりました。1目：学校管理費は、特別支援教育支援員を26人から30人へ4人増員するための人件費や学校管理委託料の増などにより、増額要求となったものであります。2目：教育振興費であります。札内スポーツクラブから小学校に派遣されておりました体育授業支援員について、派遣に係る文科省の補助が本年度で終了いたしますことから、新年度から町単費で派遣に伴う委託料を計上しております。また、学校におけるICT環境の整備として、実物投影機の購入に伴い、増額となっております。

3項：中学校費は1億7,089万8千円で、前年に比べ1,051万2千円の増額で、1目：学校管理費の増額が要因となっております。その1目：学校管理費であります。小学校と同様に特別支援教育支援員を6名から10名へ4名増員するための人件費で、スクールガード1名分を含んでおります。また、学校管理委託料の増などにより、増額要求となったものであります。2目：教育振興費では、全道全国文化スポーツ大会参加奨励金の助成率を現行の3分の2から3分の3に拡充し、保護者の負担軽減を図ります。なお、教育用コンピュータ償還金の減により、全体では減額の要求となっております。

4項：幼稚園費は4,532万2千円で、前年に比べ993万3千円の増額となっております。1目：幼稚園管理費は、特別支援教育支援員及び代替職員の増員が、2目：教育振興費は、就園奨励費扶助が増額要求の主な要因であります。

5項：社会教育費は、3億2,498万8千円で、前年に比べ、2,786万円の増となっております。主に、各種施設の補修やボイラーの更新などにより増額要求となっております。1目：社会教育総務費は、26年度は小学生の国内研修事業の実施年でないため減となっております。2目：公民館費では、駒島公民館駐車場舗装工事、3目：保健体育費では、燃料単価の増や、プール修繕、河川敷球場やソフトボール球場の整備工事などが増額の要因となっております。4目：町民会館費は耐震診断委託や地下タンク工事の終了により減額となっております。5目：郷土館費は、ふるさと館の管理経費や文化財の保護・指定に必要な予算であります。吉田菊太郎資料目録3の発行や、考古館の隣接用地にあります廃屋の解体工事費用などが増額の要因であります。6目：ナウマン象記念館管理費は、通路補修、外壁等の改修、空調設備修繕などが増額の要因であります。7目：スポーツセンター管理費は、幕別トレーニングセンターや札内スポセン、忠類体育館の管理運営経費であります。農業者トレーニングセンターのボイラー更新工事などにより増額要求となっております。8目：集団研修施設費は、旧駒島小学校を改修し、平成23年度から研修施設としてオープンしております。研修施設こまはたの管理経費であります。管理経費精査により若干の減額の要求となりました。9目：図書館管理費であります。幕別本館、札内と忠類分館の3施設に係る管理・運営に係る経費であります。臨時職員賃金の単価アップ、図書館システム更新の償還金などにより、増額要求となっております。10目：百年記念ホール管理費は、講堂の電動カーテンの修繕とホールの改修計画策定業務委託は終了いたしました。消費増税による指定管理委託料の増により、若干の増額要求となっております。4ページから6ページにかけては、主要事業を掲載しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

以上、ご説明申し上げました予算を、町に対して要求しようとするものであります。

なお、予算編成の今後の日程についてであります。年内に財政担当者によりますヒアリング、年明けから総務課長、総務部長による査定、さらには、町長、副町長による理事者査定を経て、2月4日に予算原案が確定する運びとなっております。

説明は以上であります。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

瀧本委員 予算には直接関係ないのですが、町民会館の耐震化診断が終わり、問題があるように聞いておりますが今後の考え方などあれば聞かせていただきたいです。

教育部長(羽磨知成) 耐震診断結果が出まして、数値的には耐震基準であります0.66を大幅に下回る結果となりました。それに基づいて耐震工事を行うとした場合の工事積算をしたところ、単純に耐震化工事だけだと、8,800万円かかるとなっております。町の考え方としては、この施設は本町の振興を計る意味でも、また定住施策を推進している観点からでもこのまま使用を続けていきたいと、さらには財源を考えても耐震化工事等についても検討してまいりたいと考えております。なお、このことについては20日の議会後の全員協議会において町議会議員各位に説明することとなっております。

沖田委員長 他に何かございませんか。

(ありません)

沖田委員長 お諮りいたします。議案第56号につきまして原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、議案第56号については原案どおり可決されました。

次に日程第6議案第57号給食材料費の高騰などに伴う学校給食費のあり方について説明を求めます。

給食センター所長(坂口惣一郎) 議案第57号給食材料費の高騰などに伴う学校給食費のあり方について(諮問)幕別町学校給食センター条例第4条第2項の規定により、下記のとおり幕別町学校給食センター運営委員会に諮問する。幕教幕給97号、平成25年12月、幕別町学校給食センター運営委員会委員長庄司克哉様、幕別町教育委員会委員長沖田道子、給食材料費の高騰などに伴う学校給食費のあり方について(諮問)現行の学校給食費につきましては、平成21年4月に改定を行い、幕別学校給食センターが1食当たり小学校228円、中学校277円、忠類学校給食センターが小学校232円、中学校277円となっております。学校給食につきましては、児童生徒に喜ばれるように創意工夫を重ねて提供しているところではありますが、近年、給食材料費の高騰が続き、収支の均衡を図ることが極めて厳しい状況となっております。加えて、平成26年4月1日から消費税率が3%引き上げられることとなり、なお一層厳しい状況となることが予想されます。このようなことから、平成26年度以降の学校給食費のあり方について諮問いたします。記、答申希望日平成26年1月31日まで。

以上、答申書の内容となっております。よろしくご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

沖田委員長 お諮りいたします。議案第57号につきまして原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、議案第57号については原案どおり可決されました。

次に日程第7議案第58号要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定につつまし

てはプライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め秘密会といたします。

沖田委員長 秘密会をときます。他に何かございませんか。

(ありません)

沖田委員長 それでは以上を持ちまして本日の日程の全てが終了しましたので、第14回教育委員会会議を閉じます。